

東港金属株式会社 千葉工場
LCA(2022年11月)



1.目的及び調査範囲の設定

1.1目的の設定

①意図する用途

報告書に記載し一般に公開

②実施する理由

東港金属千葉工場の環境影響を明らかにするため

1.2調査範囲の設定

①調査対象

東港金属株式会社 千葉工場

②機能

主破碎 : 1,000馬力

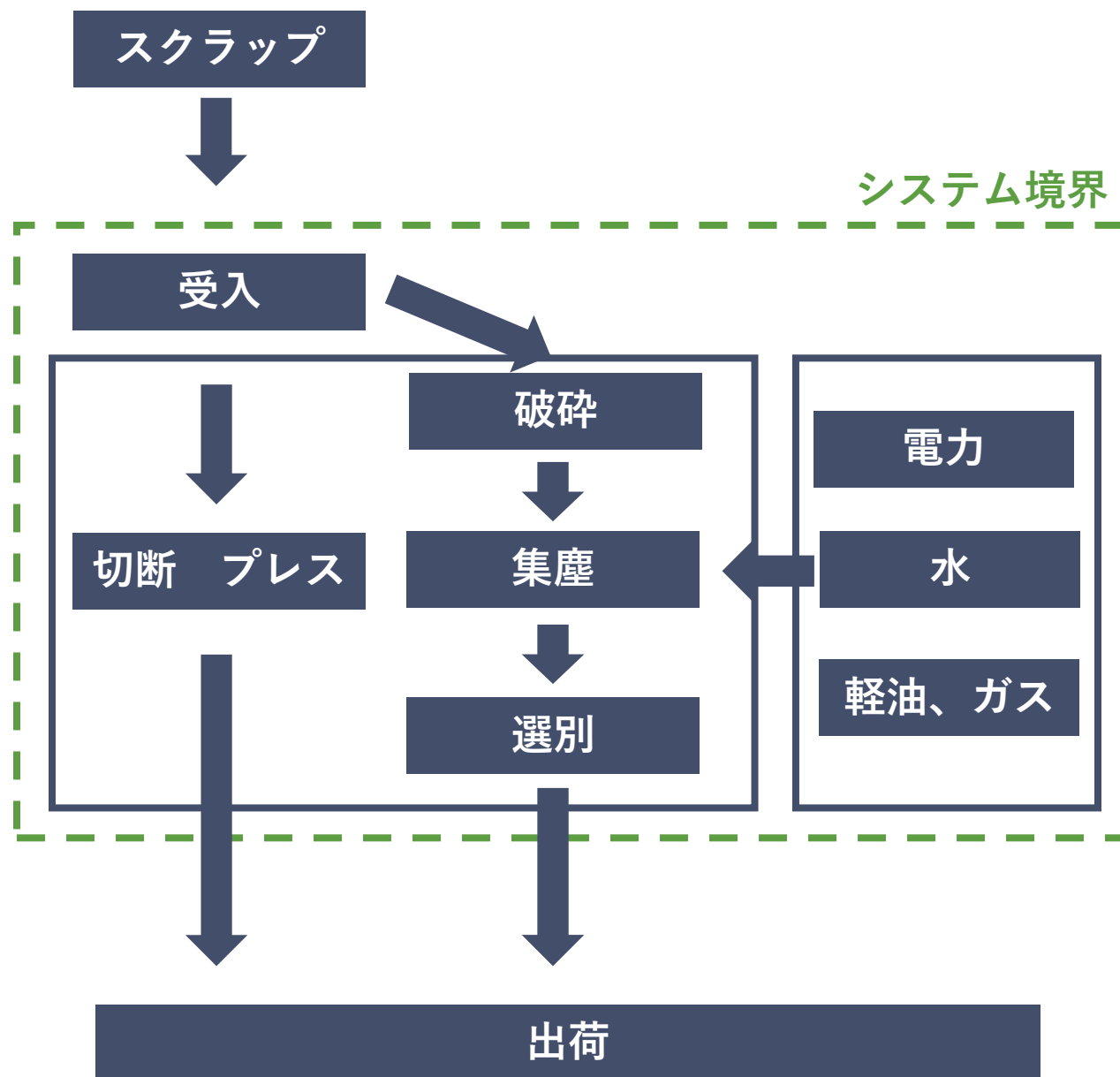
選別方法: 磁力選別、カラー選別、手選別など

③システム境界

右図 (千葉工場で生産される一部を対象)

※2022年11月分より評価対象を拡大

※インベントリ分析には、一般社団法人 サステイナビリティ技術設計機構「EZS3環境帳簿」を用いる。



2.インベントリ分析（2022年11月）

2.1データの収集

排出

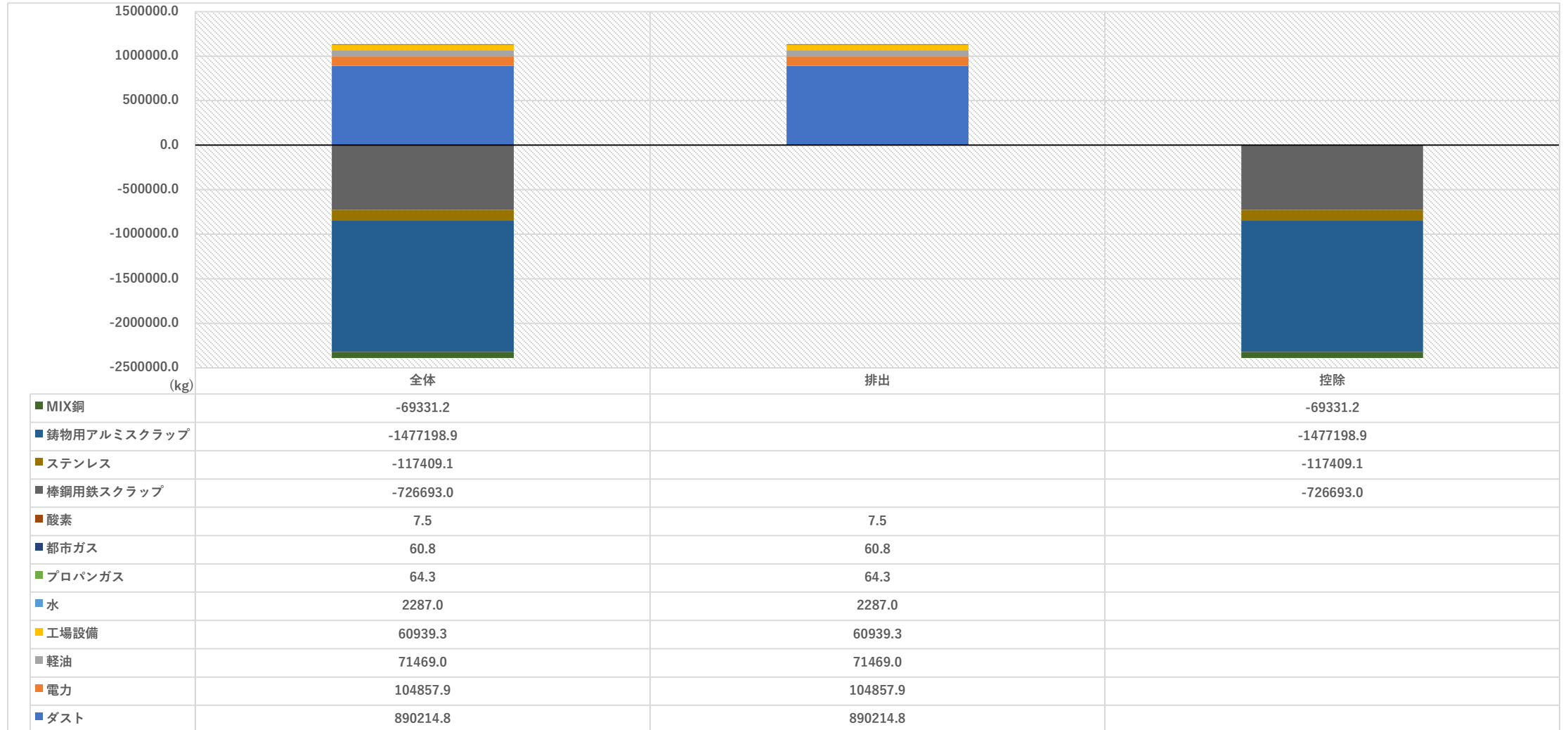
入出力項目		収集データ	
入力	電力	218,910	kWh
入力	軽油	200,60	L
入力	酸素	63	m ³
入力	プロパンガス	18	m ³
入力	都市ガス	17	m ³
入力	水	530	m ³
入力	工場設備	19,663	k¥
出力	ダスト	52,773	k¥

控除

入出力項目		収集データ	
出力	鉄	2,664,390	kg
出力	ステンレス	37,660	kg
出力	アルミ	103,701	kg
出力	MIXメタル	148,646	kg
出力	モーターコア	7,402	kg
出力	金銀銅滓	14,338	kg
出力	SSピックアップ	5,457	kg

※出力項目は平均単価、処分費を掛け合わせて算出する。

2.2インベントリ分析結果



二酸化炭素排出の大部分は、ダストによるものであることが分かった。
 試験的取り組み且つ月間報告の為、影響評価と解釈は省く。

2022年11月、東港金属株式会社の千葉工場における
二酸化炭素発生量は1,129.9t、控除量は2,390.6tです。



杉の木約169,690本が1年間に吸収する二酸化炭素量の削減に貢献しました。

家族4人で東京－長崎を2,390回往復したときの排出量削減に貢献しました。



東港金属株式会社は引き続き資源循環の最大化に努め、
環境保全活動に取り組んで参ります。